

リビングに見える梁は樹齢100年の杉を使用。お客様が現地まで足を運び木材を選定したことによって、家に対する思い入れがより一層深まる
また、奥様のこだわりとしてスキップフロアを取り入れた



リビングに使われた樹齢100年の一本杉



棟梁とお客様がリビングに使う杉を選ぶため現場まで足を運んだ

旧家から新築へご両親の思い出を引き継ぐ

リビングに設置された長さ6mの杉大梁は仕上げ部分にも技術力が見えるように、そしてお客さまにご自宅に誇りと愛着を持っていただくためにお客さま・担当棟梁で選んだ逸品。南側の窓だけでなく一年中明るさが変わらない北側窓の位置を考慮することで通風と採光を両立した。また、建て替え前の旧家和室から新築和室に部材を引き継ぐことで思い出も引き継ぎました。

Miyamoto Brand 'Gallery' 01

長期優良住宅 UA値0.67w/m²・k | 4LDK

樹齢100年の杉を使った家

光と風を考慮した北側の窓



北側に窓を設置したことにより、一年中を通して平均的な光を取り入れ、開放すれば風が抜ける



思い出の旧家の和室材を使用し、仏壇の引き出しへと生まれ変わった



思い出あふれる和室



大工が竹の形に加工した木材



大工の細かい技が光る

床框(とこかまち)に使用されている木材は、大工が一工夫し竹のように細工を施したもの。宮本住建ではこのように決して目立ちたくないような細かいところまでこだわり、全体のクオリティを引き上げています。こういった部分も、大工の腕の見せ所です。